

1 月定例教育委員会会議録

開催年月日	令和6年1月25日(木)
開催日時	午後3時10分
開催場所	別館3階大会議室
出席委員	教育長 江嶋 久典 職務代理者 木下 靖郎 委員 諫本 憲司 委員 古田 嘉寿美 委員 荒川 富士子
出席参与	教育次長 高倉 保徳 教育総務課長 瀬口 英隆 学校教育課長 阿部 一徳 社会教育課長 信岡 謙介 淡窓図書館長 穴井 健生 文化財保護課長 吉田 博嗣 成宜園教育研究センター長 梶原 健市 博物館長 行時 志郎 兼世界遺産推進室長 スポーツ振興課長 梶原 秀一 人権・部落差別解消教育課長 伊東 和史 学校給食課長 本川 明
書記	教育総務課 総務企画係 主幹(総括) 渡辺 寛幸
附議議案	協議事項1 日田市教育行政実施方針(案)について 協議事項2 第2期日田市スポーツ推進計画後期計画(案)について 報告第1号 令和5年12月期寄附採納について

教 育 長	<p>ただいまから1月定例教育委員会を開催いたします。</p> <p>初めに、12月定例教育委員会の議事録の確認でございますが、変更はございませんでしょうか。（「はい」と呼ぶ者あり）</p> <p>ご了解いただけましたら、本会議終了後に署名をお願いいたします。</p> <p>続きまして、教育長の一般報告につきましては、お手元に配付しております資料により報告とさせていただきます。</p> <p>それでは議事に入りますが、今月は附議する議案がございませんので、協議事項から説明をお願いいたします。</p> <p>まず、協議事項1 日田市教育行政実施方針（案）についてお願いします。</p>
教育総務課長	<p>議案集1ページをお願いいたします。</p> <p>協議事項1 日田市教育行政実施方針（案）についてでございます。</p> <p>1. これまでの教育行政実施方針についてでございますが、日田市教育行政実施方針につきましては、教育基本法第17条第2項に基づく市の教育の振興のための施策に関する基本的な計画であり、教育大綱で示された基本方針を実現するための具体的な取組を示すものとして策定しております。</p> <p>現行の教育行政実施方針の計画期間は、令和4年4月から令和6年3月までの2年間となっております。本年度は最終年度となりますことから、新たな教育行政実施方針を策定するものでございます。</p> <p>2. 新たな教育行政実施方針についてでございますが、本年度末で現行の実施方針の計画期間が満了しますことから、法に基づき、国が定めた教育振興基本計画を参酌し、市の最上位計画である「第6次日田市総合計画」との整合性を図りながら、新たな教育行政実施方針を策定するものでございます。</p> <p>計画の期間でございますが、下の図にありますように、次期教育行政実施方針の計画期間については、第6次日田市総合計画第3期基本計画の周期に合わせて、令和6年度から令和9年度までの4年間の計画として見直しを行いたいと考えております。</p> <p>2ページをお願いいたします。</p> <p>3. 実施方針策定方法と今後のスケジュールでございます。</p> <p>策定にあたりましては、各担当課において現状分析を行い、市総合計画第3期基本計画の策定に合わせて、課題や取組の見直しを行うとともに、教育を取り巻く情勢や個別計画の策定状況等を踏まえ、項目や文言の変更を行っております。</p>

その他、より分かりやすい表現となるように努め、項目の移動や文言の整理を行ったところでございます。

今後のスケジュールにつきましては、本日の定例教育委員会で実施方針案をご協議させていただきました後、パブリックコメントを実施し、市民のご意見を踏まえて必要な修正を行い、3月の定例教育委員会で最終案をご議決いただきましたら公表を行うとともに、6月に市議会定例会の教育福祉委員会で報告を行う予定としております。

それでは、3ページをお願いいたします。

教育行政実施方針の新旧の構成を比較できるように表にまとめたものでございます。

1番左側は現行の実施方針の構成、真ん中が新しい実施方針の構成案、1番右側が見直しの理由等でございます。

現行の実施方針からの変更箇所につきましては、朱書きで下線を入れております。

それでは、現行の実施方針からの変更点について主なものをご説明いたします。

実施方針の記載についてご説明いたしますと、「Ⅱ 学校教育の充実」を大項目、その下の「Ⅱ-第1 『夢と誇りを持って、たくましく生きる力』を育てる学校教育の推進」を中項目、その下の「1. 子どもの力と意欲を伸ばす学校教育の充実」を小項目、こちらは重点施策になります。それからその下の「(1)咸宜園教育の理念を生かした学校経営の推進」を主な取組として構成しております。

現行の実施方針では、左側の列の「1. 子どもの力と意欲を伸ばす学校教育の充実」において、「(1)咸宜園教育の理念を生かした学校経営の推進」から4ページ左側の列の1番下にありますが「(8)教職員の働き方改革」までを主な取組として整理しておりましたが、新たな実施方針では、「(5)いじめ・不登校対策の充実・強化」「(6)一人ひとりの教育的ニーズに応じたきめ細かな指導の充実」「(7)教育センター機能の充実」を4ページ真ん中の列の上から6行目の「2. 子どもの多様性に応じた学校教育の充実」という小項目、重点施策として新たに項目建てをし、整理しております。

これは、多様な児童生徒の学びの保障が課題となっていることを踏まえ、子どもの多様性に応じた学校教育の充実という視点を加えて、見直し・整理したものでございます。

また、現行の実施方針の「(8)教職員の働き方改革」については、「3. 家庭・地域と協働した学校づくりの推進」という小項

目の主な取組として移動しております。

6ページをお願いいたします。

左側の列の上から7行目の「3. 安全・安心な学校給食の提供」につきましては、現行の実施方針では、「(1)安全かつバランスの取れた食事の提供」「(2)施設の適正な維持管理」「(3)施設の在り方と効率的な運用」の3つを主な取組として掲げておりましたが、新たな実施方針では、「(1)安全・安心な給食の提供」「(2)食育の推進」「(3)将来にわたる安定的な運営」の3つを主な取組として項目の変更をしております。

これは、将来にわたり安全・安心な給食を安定的に提供していくため、異物混入防止対策等の安全性の確保や食物アレルギーへの対応、食育や地産地消への取組などについて、中長期的な展望に立ち、総合的に運営を見直すために、令和5年3月に策定いたしました学校給食基本方針との整合性を図り、食育の推進について新たに取組を追記し、項目建てをしたものでございます。

それでは8ページをお願いいたします。

「Ⅲ－第2 誰もがスポーツに親しめる環境づくり」の「1. スポーツ・レクリエーションの振興」につきましては、スポーツ・レクリエーションの「振興」から「推進」に変更するものでございます。

以前は、施設・整備などに主眼が置かれていたのに対しまして、スポーツ基本法では、スポーツに関する施策を総合的かつ計画的に推進することを謳っていることから、日田市総合計画第3期基本計画及びスポーツ推進計画と合わせて変更したところでございます。

9ページをお願いいたします。

「Ⅳ－第1 ふるさとの歴史・文化の保存と未来へ向けての活用」につきましては、現行の実施方針では、「1. ふるさとの歴史・文化の保存と未来へ向けての活用」「2. 保存と活用に向けた環境の整備」「3. 愛護意識の高揚と愛護活動への支援」「4. 咸宜園教育等の普及啓発と世界文化遺産登録」の4つを重点施策として整理しておりましたが、新たな実施方針では、「1. 文化財の保存環境の整備と活用の推進」「2. 咸宜園教育等の普及啓発と世界文化遺産登録」の2項目を重点施策として整理したところでございます。

また、真ん中の列の「1. 文化財の保存環境の整備と活用の推進」につきましては、主な取組として、「(1)文化財の保存・活用環境の整備」「(2)保存活動への支援と活用の推進」の2つに分けており、文化財の保存環境整備といったハード事業と活用の推進

といったソフト事業との区分を明確にしたところでございます。

主な構成の変更につきましては、以上でございます。

次に教育行政実施方針の本編について、別冊Ⅰの日田市教育行政実施方針（案）でご説明させていただきます。

初めに2ページをお願いいたします。

日田市教育大綱につきましては、令和4年改定時に基本方針に「安全、安心で、学びを支える学校をつくります」の「学びを支える」という文言を追加したところでございますが、教育大綱につきましては、改定の必要があるかどうかを総合教育会議においてご協議いただき、その結果を踏まえて対応したいと考えております。

4ページをお願いいたします。

現行の実施方針改定時におきまして、持続可能な開発目標、SDGsに対する取組の推進についての記載を追加し、個別計画においても目指すべきゴールの一覧を表記したところでございます。新たな実施方針においても4ページの記載内容に変更はございません。

なお、5ページに小項目ごとの重点目標の目指すべきゴールをそれぞれアイコンで表記しておりますが、このアイコンの表記について、令和4年度対象の教育に関する事務の管理及び執行状況の点検及び評価報告書の作成時に教育委員の皆様からご意見を伺った際、アイコンに記載された目標が分かりやすいようにアイコンを大きく表示した方がよいのではないかというご意見をいただきました。

新たな実施方針においてもアイコンを大きく表示したいと思っております。今回の資料ではアイコンが小さく、記載された目標が見えにくいことから、本日、差替えをお渡ししておりますように、そちらの資料と差替えをしたいと考えております。

11ページをお願いいたします。

本編の記載におきましては、主な取組ごとに現状と課題に分けて分析を行い、これらを踏まえて基本的な方向性、具体的な取組をそれぞれ記載しております。

詳細な説明は省略させていただきますが、全体として取組内容に大きな変更はございません。市総合計画第3期基本計画と整合性を図りながら、現状と課題の分析に基づいて必要な修正・追加を行うとともに、文言の統一・整理を行ったものでございます。

最後に、評価の視点となる指標につきましては、現行の実施方針では、重点施策中に指標がないもの、言い換えれば、現行の実施方針の策定段階で指標を設定していないケースがありましたこ

<p>教 育 長</p>	<p>とから、新たな実施方針においては、必ず一つ以上の目標となる指標を設定しております。</p> <p>教育行政実施方針案についての説明は以上でございます。</p> <p>ただいま説明のありました協議事項につきまして、ご質疑等はありませんでしょうか。</p>
<p>荒 川 委 員</p>	<p>質問と感想がございまして、別冊の教育行政実施方針案の11ページ、12ページです。</p> <p>11ページの現状に、日田市の小学校6年生、中学校3年生全ての教科で全国平均を下回っているという原因が知りたいと思っております。</p> <p>それから12ページの英検について、全ての小中学校で実施していることは将来に向けてとてもありがたいと思っております。</p> <p>トリップアドバイザーの記事を見たのですが、アジアの中で一番訪ねたい場所は、日田市だったそうです。</p> <p>ですから、やはりコミュニケーション能力を高めるための下準備として、小中学校の英会話に重点を置いていることはありがたいと思いました。</p> <p>でも、学力が下回るのは、例えば不登校が多いとか、いろんな要因があると思うのですが、どのようにお考えでしょうか。</p>
<p>学 校 教 育 課 長</p>	<p>これまで全国調査や県調査の報告を教育委員会で行った際に申し上げてきたこととして、平成30年度以降が下降傾向になっているという状況です。</p> <p>この時期と先生方の大量退職に伴う若い先生方の割合の増加とを合わせたときに、少し重なる部分が出てきております。</p> <p>これが全ての要因ではございませんが、ベテランの教員や中堅職員の数が少なくなってきたこと、そして、それによって指導力の差、いわゆる授業をする力であるとか、学級経営をする力というものの差が少し学級間、学年間、または教科間で広がっているということが一つの要因であると捉えております。</p> <p>それから、児童生徒の個性が多様化してきており、様々な個性を持った子どもたちへの対応として、先生方がこれまで行ってきたような、いわゆる一斉学習と言われるものでは、なかなか子どもたちには理解できなかったり、授業を落ちついて聞けなかったり、そういう児童生徒も増えているところもありますので、こういったことも一つの要因ではないかと考えているところです。</p>

教 育 長	<p>教える教員側の視点から、それから子どもたちの視点からと両面ありましたけれども、よろしいでしょうか。</p>
学 校 教 育 課 長	<p>具体的な取組につきましては、2月の総合教育会議の中でも少しお示してきたらと思っております。</p>
荒 川 委 員	<p>先ほどの勉強会でもご提案させていただいたのですが、同じく別冊1の13ページ「⑤小中連携教育の推進」というところですが、もちろん小学校と中学校の連携は大事ですが、その前の段階で、幼児の教育者、福祉の関係になるのかもしれませんが、幼児で困り事が多いお子さんが増えているということで、小学生になるための連携が、第一関門として大事ではないかと思えます。</p> <p>要支援児童を行政で早めに把握して、小学校の授業に備えるとか、早めの児童へのサポート、そして教職員の他に協力体制をつくる、そういう教育を地域で支えていくということがいいのではないかと思いました。</p>
木 下 委 員	<p>15ページからの「(4)健康・体力づくりの推進」についてです。16ページの取組の中に部活動の地域移行について記載があり、まずは休日の部活動の移行に向け検討しますとありますが、移行スケジュール等について明確になっているのでしょうか。</p>
学 校 教 育 課 長	<p>部活動の地域移行につきましては、国が令和7年度末までの移行を目指すという方針を示しておりましたが、やはりスケジュール的に厳しいという意見が多く集まったため、できるところから進めていくという方針に国は変えております。</p> <p>しかしながら、大分県では国が当初示したスケジュールを目標に、令和8年度から始めるとしております。日田市としましてもできる部活動から少しずつ始めていきながら、まだ予算等についてはっきりと県から説明がございませんが、少しずつ来年度からモデルとして、休日の部活動の地域移行の取組をいくつかの部で進めていくというスケジュールはできております。</p> <p>ただ、次回3月に部活動の検討委員会を開く予定にしておりますが、その中で今後のスケジュールについても詳細に詰めていくことにしております。</p> <p>今のところはっきり申し上げられるのは、日田市としても県と同じように、令和8年度からの導入を目指しているということでございます。</p>

教 育 長	考え方としては、いくつかの部活動から始めるということでしょうか。
学校教育課長	現在はその方針でございます。
木 下 委 員	もう1点、お尋ねでございます。 24ページの「(3)教職員の働き方改革」についてですが、25ページの「②業務改善の推進」の中に、時間外労働が月80時間以上であった教職員の人数の割合が5.8%とありますけれども、人数にしましたら何人程度なのでしょうか。
学校教育課長	手元に詳細な資料がないため、正確な数字を申し上げることはできませんが、延べの人数でございますので、例えば、1人の管理職の先生が80時間を連続して超えた場合も、1人ではなく、10回超えていれば10人というカウントになります。 延べ人数については、調べてお伝えいたします。
木 下 委 員	80時間をオーバーした教職員の方につきましては、産業医などの先生の面接指導等は受けられているのでしょうか。
学校教育課長	規定があり、80時間以上で本人の申出がある場合には、産業医との面談を行うことにしております。80時間を超えている場合は、毎月市教委で把握できますので、その学校の管理職の方にその方の状況を聞き、必要に応じて面談の勧めを行っております。
木 下 委 員	月80時間を超えますと、健康障害を発症するリスクが非常に高くなると言われておりました、それが常態化し、過労死といったことになると大きな問題になるおそれがあります。 そういった意味からも、「②業務改善の推進」の取組の中に、「教職員の働き方に関する意識改革の高揚を図ります」とありますが、それに加えて、「学校長による勤務時間管理の徹底を図ります」といった文言も必要ではないかと思えます。
学校教育課長	確かに管理職の時間管理というものは必要でございますので、そのような文言を挿入するよう検討したいと思います。
古 田 委 員	64ページの「文化財保存団体等の育成・支援」についてです

<p>文化財保護課長</p>	<p>が、文章の最後の方に「特に後継者が不足し存続の危機にある鶺鴒に関しては積極的な対策に取り組めます」という文があります。これはずっと言われていることですが、具体的に積極的な対策ということは考えていらっしゃるのでしょうか。</p> <p>具体的には、新年度より鶺鴒の後継者の育成に対する取組を新たに始めようと考えております。</p> <p>旅館組合や観光協会とも連携して取組をしていかなければならないと思っておりますので、連携先としてその2つの団体を想定しておりますし、現在、鶺鴒の保存会は2名でいらっしゃいますけれども、2名の方についても、新年度の話にはなるものの、新しい取組をするということについては、事前にご相談をしているところです。</p> <p>後継者の育成につきましては、基本的にそのご家族といいますが、鶺鴒を今やっていたら鶺鴒さん2名のご家族に後継者がいれば一番いいわけですが、現在は全くいないものですから、外部から募集をかけて、後継者として新たに育成するというプランを考えているところでございます。</p>
<p>古 田 委 員</p>	<p>一昨年、岐阜に行ったときに鶺鴒さんとお話しする機会があったのですが、全国鶺鴒大会みたいなものがありますよね。</p> <p>鶺鴒さんたちの中で積極的に横のつながりがあって、私が「日田からです」と言ったら、「日田の人は1回も来たことがないね」と言っていました。</p> <p>おそらく、全国的に鶺鴒さんは減ってきていると思うので、そういう横のつながりとかを掛け橋にしていくことも一つの取組なのではないかと思いました。</p> <p>それから、旅館街の屋形船も年々減っていますが、鶺鴒と屋形船はやはりセットだと思うのですが、屋形船についてはどう思われますか。</p>
<p>文化財保護課長</p>	<p>一つ目の質問ですが、鶺鴒サミットというものが2年に1回あります。これまでは市の観光課が窓口であったこの鶺鴒サミットですが、現在は文化財保護課が窓口になっておりまして、今年度初めて参加してまいりました。</p> <p>京都の宇治で行われまして、全国各地の鶺鴒の関係者が集まっています、私も初めての参加だったので雰囲気も分からなかったのですが、参加している団体の中には市町村の職員も一緒に来て、皆さんおそろいの法被を着るなど、非常に盛り上がりのあるもの</p>

	<p>でした。私どもは知らなかったのですが、日田の鵜匠さんの活動時期と、鵜飼サミットの開催時期や全国の鵜飼というのは時期が少しずれていまして、日田市の鵜飼が10月末までで一番長く活動しています。</p> <p>それで、日田の鵜匠さんが参加できない時期に毎年鵜飼サミットが開催されていることも分かったものですから、その点については、開催時期の見直しなども含めて、私ども日田市から声を上げさせていただきました。今回の参加で、各市において鵜飼に関わる方々が非常に多岐にわたっていることもよく分かりましたので、今後の支援策に生かしていきたいと考えています。</p> <p>もう一つの質問、屋形船につきましては、現在、私どもが把握している限りでは、ピーク時の40艘くらいから、現在では10数艘くらいまで減っていると思います。屋形船の数と鵜飼の観覧客数、また観覧客数に対する鵜匠さんへの収入ということも全部連動していますので、屋形船が少ないままであれば、鵜匠さんの収入にも影響することが分かっていますので、鵜飼の継続、あるいは後継者の育成については、関係する観光団体や旅館組合など、いろんな団体に関わって取り組まなければいけない課題だと考えています。</p>
古 田 委 員	<p>観光と文化というのは裾野が両方ものすごく広くて、交わる部分もとても多いと思うので、お互い協力し合ってやっていただけたらと思いました。</p>
諫 本 委 員	<p>教育行政実施方針案の内容は、どの項目を見ても大事なことばかりで、時代の変化に合わせてながら少しずつまとまっていくという感じがします。</p> <p>ただ一つ気になるのは、これだけのものが整備されて、また校長会とかいろんなところで伝えられて、先生たちはこれに基づいて一生懸命学校運営をやっていくわけですけれども、それを実行することに一生懸命になった時に、みんな同じことをやっているというか、一定の枠を出ることができない、面白味がないというか、可能性を少し縮めているような気がするのです。</p> <p>ですから、例えば、先生たちの働き方改革の中に校務環境の整備や業務改善の推進という言葉がありますね。</p> <p>こういうところをコミュニティースクールの特性も生かしたりしながら、学校の自由度というか、校長先生の自由度といいますか、そこら辺を皆さんが少しずつ心構えを持ってやっていただきたいと思います。今までどおり取り組んでいただくことと、方針</p>

<p>教 育 長</p>	<p>を一生懸命守らなければならないと思って取り組むこととは違うと思います。</p> <p>地域によって、学校によって、特性も変わってきますので、今ここで大事なものは何なのかというところを先生たちは地域に行かれたり、学校に行かれたりすれば分かると思いますので、先生がやりたいと思ったことに対して、方針は大事ですが、学校や地域とか、先生方の発想の自由度とか、教育活動の自由度とか、これをしなければいけないということを少し乗り越えていいのだというような感覚も持っていた方が、より地域とか学校とかに合ったものになるだろうし、子どもももう少し面白がって学校に行けるような、魅力ある学校につながっていくのではないかなとかいう気がしました。</p> <p>教育行政実施方針等に基づいて、各学校では、自分たちの学校の教育方針というものを示すA4横置きにした各学校統一様式のものがあります。枠組みに方針だけは入れてありますが、その具体は各学校で作っていただくようになっています。それをずっと引き継いで使っていますけれども、今、委員からお話のありましたような教育委員会としての考え、学校の裁量ということについてもきちんと説明しながら、もう一度整理していきたいと思いました。</p> <p>そのほかよろしいでしょうか。</p> <p>幾つかご意見を頂きましたが、ご意見として承ること、それから反映させていくべきことを整理して、手続きを進めていただきたいと思います。</p> <p>次に、協議事項2 第2期日田市スポーツ推進計画後期計画（案）についてお願いいたします。</p>
<p>スポーツ振興課長</p>	<p>協議事項2 第2期日田市スポーツ推進計画後期計画（案）についてご説明いたします。</p> <p>議案集の11ページをお願いいたします。</p> <p>これまでのスポーツ推進（振興）計画についてでございますが、スポーツ基本法第10条に基づきまして、平成24年4月から令和4年3月までの10年間を計画期間とする日田市スポーツ振興計画を策定しておりました。</p> <p>日田市スポーツ振興計画の計画期間終了に伴い、令和4年度から令和9年度までの6年間を計画期間とする第2期日田市スポーツ推進計画を策定したところでございます。</p> <p>次に、第2期日田市スポーツ推進計画後期計画についてござ</p>

います。

別冊2の2ページをお願いいたします。

「3. 計画期間」の表がございしますが、表に示しておりますとおり、スポーツ推進計画は上位計画であります第6次日田市総合計画の計画期間に合わせ、令和4年度から令和9年度までの6年間とするとともに、日田市総合計画の第2期及び第3期基本計画に合わせ、令和4年度から5年度までを前期計画、令和6年度から9年度までを後期計画としております。

また、上位計画であります第6次日田市総合計画、日田市教育大綱、日田市教育行政実施方針との整合性を図りながら策定しております。

次に、計画策定の体制及び流れについてでございます。

計画策定の体制といたしましては、策定に関する審議機関として、スポーツ関係団体の代表者、福祉や保健関係者、関係行政機関の職員等12名で構成します日田市スポーツ推進計画策定委員会を設置しており、委員につきましては別冊2の34ページに掲載しているとおりでございます。

計画策定の流れにつきましては、第2期日田市スポーツ推進計画の目標値について、前期計画期間における達成度等の検証を行うとともに、市民アンケートの実施や、日田市スポーツ協会のほかご覧の関係団体の意見聴取を行い、策定委員会の審議を経て、後期計画案としております。

今後のスケジュールにつきましては、お示しはしていませんが、議案集2ページにある日田教育行政実施方針案と同じスケジュールで行っていく予定でございます。

議案集の12ページをお願いいたします。

前期計画と後期計画の比較でございます。

1番左側に後期計画案の構成、真ん中に前期計画からの変更内容、右側に変更内容の見直し理由を示しております。

「第1章 1. 計画改定の趣旨」ですが、前期の場合は「策定」としておりましたが、後期計画にあたり、それを「改定」としております。

それから、前期計画の「第3章 これからのスポーツ推進施策」の中にありました「コロナ禍におけるスポーツ」を削除し、後期計画では「第2章 本市スポーツの現状と課題」の中に新たに追加したところでございます。

理由としましては、令和5年5月に新型コロナウイルス感染症が2類感染症から5類感染症へ移行したことから、第3章ではなく、第2章において、コロナ禍の総括を行うこととしたものでござ

ございます。

13ページをお願いいたします。

「第3章 これからのスポーツ推進施策」の中の「3. スポーツ推進のための具体的施策」の「『する』『みる』スポーツによる交流人口の増加」の①につきましては、「スポーツコンベンションの推進」を「スポーツツーリズムの推進」と見直しております。

理由といたしましては、スポーツツーリズムという言葉は国の第2期スポーツ基本計画から盛り込まれており、市としましても今年度からスポーツツーリズム推進事業を開始していることから変更したものでございます。

次の「『ささえる』施設利用の向上」の「①計画的なスポーツ施設整備と持続可能な管理」については、「計画的なスポーツ施設整備と適正な管理」と変更いたしました。

理由としまして、別冊2の19ページをお願いいたします。

19ページに先ほど申しました項がございしますが、現状と課題の中に「適正な管理」という言葉で表記しておりますので、それに合わせて変更したところでございます。

また、その下の主な取組の中で、令和4年度にB&G海洋センターの敷地内にありました天瀬ふれあい風呂を取り壊したため、天瀬ふれあい風呂という記載を削除しまして、同じく令和4年度に使用料の減免については庁内的に統一を行ったため、「施設の減免の取扱いを含む使用料の全庁的な整理検討を行う」という文章を削除したところでございます。

最後に、「4 前期計画における具体的重点戦略」という項目を「後期計画」に変更したところでございます。

それでは、内容についてご説明させていただきます。

別冊2の1ページをお願いいたします。

計画改定の趣旨でございしますが、後期計画を策定する際に情勢等が変化したことがありましたので、変化の部分について変更しております。

4ページをお願いいたします。

「1. 人口の動向とスポーツの推進」「2. スポーツ実施の状況」とありますが、これにつきましては、アンケート調査や関係団体の意見聴取等により、数字または意見の変更を行っております。

あわせてアンケート結果により、数字やグラフ、分析の文言を変更しております。

5ページにつきましては、アンケートの調査結果を反映させた

ものがございます。

6ページをお願いいたします。

こちらアンケート調査の結果を反映するとともに、児童生徒の運動能力等調査の令和3年度、令和4年度の結果を追加しております。

7ページから9ページまでにつきましては、令和3年度、令和4年度の実績に基づいて追加しております。

10ページにつきましては、これも同じく、令和3年度、令和4年度の実績及びアンケート調査の結果を反映したものでございます。

11ページには、先ほどご説明いたしました「新型コロナウイルス感染症による影響」の項目を、第3章からこちらの第2章に移行しております。

12ページ第3章の「1. 計画の基本理念と基本目標」につきましては、第2期スポーツ推進計画が令和4年度から令和9年度までの6年間としていることから、後期計画につきましても、前期計画と同様の基本理念と基本目標としております。

14ページにつきましては、アンケート調査、児童生徒の運動能力等の調査、それからお達者年齢の結果を踏まえて文言整理を行ったものでございます。

16ページにつきましては、令和3年度、令和4年度の実績による文言の整理でございます。

17ページにつきましては、令和4年度の実績、それと関係団体等から意見聴取を行った内容を反映したところでございます。

17、18ページにつきましては、先ほど申しましたとおり、国の第2期スポーツ基本計画からスポーツツーリズムが盛り込まれており、本市におきましても令和5年度からスポーツツーリズム推進事業を開始したため、文言の整理をしたところでございます。

また、18ページにつきまして、「大規模イベントの開催」に実績による文言整理を行っております。

20ページをお願いいたします。

20ページにつきましては、市民アンケート調査による結果を反映させております。

21ページにつきましては、令和6年度の新規事業として、「ツール・ド・九州」「全国高校総体」を追加しております。それから、前期計画では日田市陸上競技場の整備がございましたが、整備が終了したことから、それを削除し、新たに照明設備の工事を追加したところでございます。

	<p>22ページにつきましては、市民アンケート調査や実績に基づき、数字を変更したものでございます。</p> <p>私からは以上でございます。</p>
教 育 長	<p>ただいま説明のありました協議事項について、ご質疑等ありましたらお願いいたします。</p>
荒 川 委 員	<p>日田市の三隈川を使ったサップ大会の第2回が開催されたと聞いておりますが、ここには載っていません。</p> <p>民間でやっているそうなのですが、川の上、船上のサップというのはすごい見応えがあります。ツール・ド・九州もプロのスピード感だったり、世界トップレベルの選手を体感したりして、大会に憧れたり、有名になっていったりすると思います。</p> <p>今後、サップを市として支援していくとか、そういう考えはありますか。</p>
スポーツ振興課長	<p>現在サップは民間の方を中心に行っていますので、市としては補助していない状況です。</p>
教 育 長	<p>検討課題ということですか。</p>
スポーツ振興課長	<p>大会をするから市として何か援助できないかということは、今のところ声はかかっておりません。これからもっと大規模なものにしたいとか、そういったご意向があるのかちょっと不明ですけれども、そういった形で何か支援できないかというときには検討していこうと、今は考えております。</p>
荒 川 委 員	<p>日田市では三隈川はシンボリックな存在だと思うので、鶺鴒の話も含めて、サップとか、点が線になって観光に結びつくといった次第です。</p> <p>先ほどの発言にちょっと誤りがありまして、日田市がアジアで一番訪ねたいところとしてナンバーワンというのは、Book ing. comでした。</p> <p>進撃の巨人の効果も大きいですが、アジア人が一番来たいという場所として、日田市が日本でトップだということを今朝見まして、すごく晴れ晴れしい気持ちになったのですが、進撃の巨人だけではなくて、サップをやっているよ、鶺鴒もやっているよ、ツール・ド・九州もあるよといった感じで線につながっていくと、もっと市として盛り上がるのかなと思います。</p>

教 育 長	川にも目を向けてということですね。ありがとうございます。そのほかございますでしょうか。
古 田 委 員	大原総合体育館の空調設備の利用料については、子どもが金管をやっている時に高いという話があったのですが、今検討中ということですか。 それから、天瀬ふれあい風呂はスポーツ振興課のものだったのですか。
スポーツ振興課長	天瀬ふれあい風呂は、天瀬B & G海洋センターの敷地内にあったため、スポーツ振興課の所管になっていたもので、温泉設備の修理ができないということで、随分前から閉鎖しておりました。 天瀬ふれあい風呂の跡地に消防団員の詰所を建てたいという地元からの意向がありましたので、閉鎖していた施設を取り壊して、その跡地に消防団の詰所を建てたという次第でございます。
教 育 長	空調の問題はどうか。
スポーツ振興課長	総合教育館の空調使用料の問題ですが、確かに他市と比べて高いということは認識しております。 現在、なぜその金額になったのかという根拠を調査しているところでございまして、その根拠が分かれば、空調使用料の改定方針が見えてくると思います。 使用料が高いという認識はございますので、適正な額はいくらなのかということは今後、検討していきたいと考えております。
古 田 委 員	子どもたちが一生懸命練習したりする場なので、少しでも安いほうがいいと思います。
教 育 次 長	この件につきましては、昨年12月の市議会定例会の中で、一般質問として議員から質問をいただいた内容でもございます。 先ほどスポーツ振興課長より説明がありましたように、確かに他市に比べてかなり金額が高く、利用する上での支障になる一つの要因と捉えておりますので、現在積算の根拠について当時の資料等を調べております。新しくできた施設と比べて、日田市総合体育館は建設が早く、空調設備を導入した施設としてはかなり古い施設になります。設置当初からすれば、最新の空調を導入した体育館であるということから使用料については当時の理由があっ

<p>教 育 長</p>	<p>たと見ているところですけども、繰り返しになりますが、現状からすると確かに高いという状況にありますので、早急に見直しの方向を持って検討していかねばならない一つの課題として捉えております。</p> <p>見直しの方向で調査、検討をするということですね。</p> <p>そのほかいかがでしょうか。</p> <p>それでは、この協議事項につきましては、ご意見をいただいた点もありますので、反映や検討等を行った上で、手続きを進めていただきたいと思います。</p>
<p>学 校 教 育 課 長</p>	<p>木下委員からご質問がございました教育行政実施方針案の25ページ、時間外在校等時間が1か月80時間以上であった教職員の年間延べ人数の割合、5.8%を人数にするとどれぐらいかということでしたが、分かりましたのでご報告させていただきます。</p> <p>人数は、延べで328人、分母は約5,650人でございます。</p>
<p>教 育 長</p> <p>書 記</p>	<p>それでは、続いて報告事項について説明をお願いします。</p> <p>報告第1号についてお願いいたします。</p> <p>議案集の14ページをお願いいたします。</p> <p>報告第1号 令和5年12月期寄附採納についてでございます。</p> <p>地区寄附の採納が2名、2件でございます。1件目は、三河町の檜原長男様から小野小学校へ、図書購入費として3万円のご寄附をいただいております。</p> <p>小野小学校の子どもたちにたくさん本を読んでほしいという思いから、令和3年より継続してご寄附をいただいております。</p> <p>2件目は、清水町の井上太香美様から北部中学校へ、教育振興のため5万円のご寄附をいただいております。</p> <p>井上様には平成13年から毎年、同様のご寄附をいただいております。</p> <p>次に、一般寄附の採納が1団体1件でございます。株式会社九州コクボ様から市内小・中学校へ、ロックアイスマイボトル180gを9,336袋、74万6,880円相当をご寄附いただいております。</p> <p>ロックアイスマイボトルは、水筒に直接入れることができる袋</p>

<p>教 育 長</p>	<p>入りの小粒タイプの氷で、児童生徒の熱中症予防を目的に7月から配布いただいたものでございます。</p> <p>12月に数量が確定しましたことから、ご報告するものでございます。</p> <p>なお、株式会社九州コクボ様からは、令和2年より継続してご寄附をいただいているところでございます。</p> <p>12月につきましては、以上3件、金額が8万円、物品相当額は74万6,880円で、合計82万6,880円をご寄附いただいております。</p> <p>報告第1号につきましては、以上でございます。</p> <p>ただいまの報告につきまして、何かご質疑等ございませんでしょうか。</p> <p>ないようでございますので、報告につきましては以上となります。ご寄附につきまして、ありがとうございました。</p> <p>その他についてお願いします。</p>
<p>教育総務課長</p>	<p>次回の定例教育委員会の日程についてでございます。</p> <p>2月期の定例教育委員会の日程につきましては、2月16日金曜日13時30分から勉強会、15時から定例教育委員会をお願いしたいと思います。</p>
<p>教 育 長</p>	<p>2月期定例教育委員会の日程は、ただいまの説明のとおり2月16日金曜日ということでございますが、よろしいでしょうか。</p> <p>それではそのようにお願いいたします。</p> <p>その他、何かございませんでしょうか。</p> <p>私から確認ですが、先ほどの教職員の働き方改革についての数字ですけれども、「延べ人数」ということでよろしいですか。</p>
<p>学校教育課長</p>	<p>延べ人数で間違いございません。</p>
<p>教 育 長</p>	<p>その他ご意見がなければ、以上で1月定例教育委員会を閉会いたします。</p> <p>大変お疲れさまでした。</p> <p style="text-align: right;">終了時刻：午後4時15分</p>